

単元名

欧米における近代化の進展

1 単元のねらい

欧米諸国における発展の経緯を追究することを通して、欧米諸国では産業革命や市民革命が起き、議会政治が始まり国民が中心となる政治の仕組みや、資本主義や社会主義などの経済の仕組みが生まれたことを理解し、政治や経済、産業において近代化する中で世界に先がけて発展していったことが分かる。

2 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
単元の評価規準	・欧米諸国では、産業革命や市民革命によって近代的な政治や経済の仕組みが生まれたことを理解している。	・欧米諸国が世界に先がけて発展した理由を、欧米諸国の革命後の政治や経済の仕組みの変化と関連付けて、多面的・多角的に考察し、表現している。	・欧米諸国における革命と社会の変化の様子を主体的に追究し、課題解決しようとしている。

●学習改善につなげる評価 ○評定に用いる評価

	1	2	3	4	5
知識・技能	●		●	○	
思考・判断・表現		●			○
主体的に学習に取り組む態度	●				○

3 単元構造図（全5時間） ☆獲得する認識

単元名 欧米における 近代化の進展	単元学習前の生徒の認識 江戸幕府の立て直しを目指して諸改革が行われたが、いずれも上手くいかず幕府の支配力が弱まってきた。ロシアやイギリス、アメリカ船が日本にやって来るようになり、国内外ともに不穏な空気が流れている。そんな中で、欧米諸国は日本と比べてどのような発展をしているのだろう。
-------------------------	--

第1時 イギリスとアメリカの革命【●知識・技能, ●主体的に学習に取り組む態度】
イギリスとアメリカはどのように発展したのだろう。
☆ロック ☆モンテスキュー ☆ルソー ☆ピューリタン革命 ☆名誉革命 ☆権利章典 ☆立憲君主制 ☆議会政治 ☆独立宣言
イギリスでは国王による専制が行われていたが、ピューリタン革命や名誉革命が起こり、 <u>世界初の立憲君主制や議会政治が始まった</u> 。アメリカでは独立戦争が起こり、 <u>支配されていたイギリスから独立し、人間の自由や平等を唱える独立宣言や三権分立を柱とする合衆国憲法が定められた</u> 。どちらの国も国民が主体となる新しい政治の仕組みや国民の人権を大切に <u>する人権思想</u> が生まれたことが共通点である。

なぜ欧米諸国は世界に先がけて発展したのだろう。

第2時 フランス革命【●思考・判断・表現】	第3時 ヨーロッパにおける国民意識の高まり
フランス革命後、世界はどのような様子だったのだろう。	【●知識・技能】
☆フランス革命 ☆人権宣言 ☆徴兵制 ☆ナポレオン	フランス革命後、世界はどのような様子だったのだろう。
フランスでは絶対王政が行われていたが、 <u>フランス革命によって国王中心の政治から議会が開かれて国民による政治が行われるようになった</u> 。 <u>人権宣言</u> は世界中にも影響を与え、現代にもつながる人権の大切な考え方になっている。	☆義務教育 ☆普通選挙 ☆政党政治 ☆ビスマルク <u>フランス革命後のヨーロッパでは、国民主権や自由、平等といった啓蒙思想が広がった</u> 。また、 <u>憲法が制定されたり、議会政治が始まったりするなど近代的な政治の仕組みが整えられた</u> 。さらに、 <u>徴兵制や義務教育の普及は国民としての一体感を高めた</u> 。中南米では、「自由」の考えが広まり、多くの国が独立を果たした。

第4時 ロシアの拡大とアメリカの発展【○知識・技能】
ロシアとアメリカはどのように発展していったのだろう。
☆南下政策 ☆移民 ☆南北戦争 ☆リンカン
ロシアは東西に領土を拡大し、南下政策を進めていた。アメリカでは南北戦争が起き、北部が勝利した。多くの移民を受け入れたこともあり、 <u>アメリカは世界最大の資本主義国へと成長した</u> 。どちらの国も今後アジアや日本に進出してくるのではないか。

第5時 産業革命と資本主義【○知識・技能, ○主体的に学習に取り組む態度】
産業革命によって、社会はどのように変化したのだろう。
☆産業革命 ☆資本主義 ☆労働組合 ☆社会主義
欧米諸国では産業革命によって多くの産業が発達し、物が豊かになった。 <u>資本主義が広まる一方で、資本家と労働者の格差が大きくなり、労働者は過酷な労働を強いられ、都市部では環境問題も起きた</u> 。こうした中で、 <u>格差や貧困を解決しようと社会主義の考えが芽生えた</u> 。

単元学習後の生徒の認識
欧米諸国では政治の不満に対して国民が立ち上がった。市民革命や産業革命によって近代的な政治や経済の仕組みが整えられた。日本とは国力にもずいぶん差があるが、幕府はこの先どのように政治を進めていくのだろう。

4 単元指導計画

時	ねらい	学習活動	評価規準	◇資料・指導援助
1 イギリスとアメリカの革命	<p>イギリスとアメリカの発展の経緯を調べることを通して、イギリスでは市民革命、アメリカでは独立戦争によってそれぞれ政治体制が変化したと理解することができる。</p> <p>探究課題に対する最初の考えをもち、見通しをもって主体的に課題解決しようとすることができる。</p> <p>☆ロック ☆モンテスキュー ☆ルソー ☆ピューリタン革命 ☆名誉革命 ☆権利章典 ☆立憲君主制 ☆議会政治 ☆独立宣言</p>	<p>1 日本と欧米諸国の様子を比較し、探究課題を設定する。</p> <p>なぜ欧米諸国は世界に先がけて発展したのだろうか。</p> <p>2 年表を見て、探究課題に対する見通しをもつ。</p> <p>3 本時の課題を設定する。</p> <p>イギリスとアメリカはどのように発展したのだろうか。</p> <p>4 発展の要因となる歴史的事象に着目して、個人追究したのち交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・啓蒙思想のおこり→国王の権力の制限、人民の政治参加 ・専制や他国からの支配→国民主体の政治の仕組みへの変化 <p>【イギリス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ピューリタン革命 ・国王の専制，王政→立憲君主制，議会政治 <p>【アメリカ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・独立戦争 ・イギリスによる植民地支配→独立宣言，三権分立を柱とする合衆国憲法 <p>5 本時の課題に対するまとめを行う。</p> <p>イギリスでは国王による専制が行われていたが、ピューリタン革命や名誉革命が起こり、世界初の立憲君主制や議会政治が始まった。アメリカでは独立戦争が起こり、支配されていたイギリスから独立し、人間の自由や平等を唱える独立宣言や三権分立を柱とする合衆国憲法が定められた。どちらの国も国民が主体となる新しい政治の仕組みや国民の人権を大切にする人権思想が生まれたことが共通点である。</p>	<p>イギリスの市民革命やアメリカの独立戦争は、それぞれの国の政治体制に影響を与えたことを理解している。(知・技)</p> <p>探究課題に対する考えをもち、主体的に課題解決を図ろうとしている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p>	<p>◇江戸の町の様子 ◇18世紀初めのイギリス議会 ◇万国博覧会 ◇鉄道の開通</p> <p>◇マグナカルタ ◇権利章典 ◇アメリカ独立宣言 ◇アメリカ合衆国憲法の原則 ◇啓蒙思想家</p> <p>・歴史的事象の前後を比較することで、国の変化を捉えられるようにする。</p>
2 フランス革命	<p>フランス革命前後の変化を比較することを通して、絶対王政が行われていたフランスではフランス革命によって、国民議会が開かれたり、国民の人権が重視されたりし始めるなど、政治体制が変化したと考えることができる。</p> <p>☆フランス革命 ☆人権宣言 ☆徴兵制 ☆ナポレオン</p>	<p>1 革命後のフランスを示す資料から、本時の課題を設定する。</p> <p>フランス革命の前と後では、フランスはどのように変化したのだろうか。</p> <p>2 「政治の仕組み」「人権」といった視点で個人追究したのち交流する。</p> <p>【革命前】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絶対王政，議会なし ・税負担の多くは平民 ・僧侶や貴族が土地所有の60% →貧富の差が大きい <p>【革命後】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国民議会 ・人権宣言の発表 →自由，平等，国民主権が唱えられる ・ナポレオンがヨーロッパの大部分を支配 <p>3 フランス革命の影響や現代の政治とのつながりを考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「自由」や「平等」に基づく人権の考え方は世界にも影響を与えたのではないか 	<p>フランス革命前後の変化を政治の仕組みや人権などの視点で考えている。</p> <p>【思・判・表】</p>	<p>◇革命前後のフランスの風刺画</p> <p>◇絶対王政の仕組み ◇革命前の人口構成と土地所有割合 ◇人権宣言 ◇ナポレオンのヨーロッパ支配</p> <p>・革命前後の事象を比較することで、変化を捉えることができるようにする。</p>

		<ul style="list-style-type: none"> ・現代の政治の仕組みにもつながっている <p>4 本時の課題に対するまとめを行う</p>		
		<p>フランスでは絶対王政が行われていたが、フランス革命によって国王中心の政治から議会が開かれて国民による政治が行われるようになった。人権宣言は世界中にも影響を与え、現代にもつながる人権の大切な考え方になっている。</p>		
3	<p>フランス革命の世界への影響を調べることを通して、ヨーロッパでは国民国家が形成されたことや中南米諸国が独立したと理解することができる。</p> <p>☆義務教育 ☆普通選挙 ☆政党政治 ☆ビスマルク</p>	<p>1 フランス革命がどのような出来事であったかを想起し、本時の課題を設定する。</p> <p>フランス革命後、世界はどのような様子だったのだろう。</p> <p>2 ヨーロッパと中南米の様子を個人追究したのち交流する。</p> <p>【フランス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男子普通選挙の確立 ・共和制 <p>【イギリス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロンドンが世界最大の都市へ ・万国博覧会の開催 ・議会の力が大きくなり、政党政治が発達 <p>【ドイツ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビスマルクの指導の下、ドイツ帝国へ <p>【イタリア】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・独立し、イタリア王国が成立 <p>【中南アメリカ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メキシコ、ブラジル、アルゼンチンなど多くの国が独立 <p>3 ヨーロッパに広まった政治や社会の仕組みを抽象化する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・啓蒙思想の広まり（国民主権、自由、平等） ・支配に対する反感、身分をこえた革命 ・徴兵制、義務教育、憲法、議会政治、軍事力や産業の発達 <p>4 本時の課題に対するまとめを行う。</p>	<p>政治や教育、産業を要因として、ヨーロッパで国民国家が形成されたことや中南米諸国が独立したことを理解している。</p> <p>【知・技】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◇ウィーン会議後のヨーロッパ ◇民衆を導く自由の女神 ◇19世紀のヨーロッパの小学校 ◇万国博覧会 ◇ドイツの統一 ◇中南アメリカ諸国の独立 <p>・ヨーロッパ諸国の様子や前時までに学習したアメリカやフランスの様子との共通点を考えることで、ヨーロッパ全体の様子を抽象化する。</p>
		<p>フランス革命後のヨーロッパでは、国民主権や自由、平等といった啓蒙思想が広がった。また、憲法が制定されたり、議会政治が始まったりするなど近代的な政治の仕組みが整えられた。さらに、徴兵制や義務教育の普及は国民としての一体感を高めた。中南米では、「自由」の考えが広まり、多くの国が独立を果たした。</p>		
4	<p>ロシアとアメリカの発展の経緯を調べることを通して、①ロシアでは、東西に領土を広げ、南下政策を行っていること②アメリカでは、領土拡大ののち南北戦争が起こり、世界最大の資本主義国に成長していったと理解することができる。</p> <p>☆南下政策</p>	<p>1 ロシアとアメリカの領土の変化をつかみ、本時の課題を設定する。</p> <p>ロシアとアメリカはどのように発展していたのだろう。</p> <p>2 領土や政治、経済に着目して個人追究したのち交流する。</p> <p>【ロシア】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東西への領土拡大 ・南下政策 ・工業の発展 ・20世紀初めまで憲法や議会がなく、皇帝の専制政治が続く <p>→身分や貧富の差が大きく、ヨーロッパ諸国と比べて政治や社会の仕組みに遅れ</p> <p>【アメリカ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移民の受け入れによる人口増加 <p>→農業・工業の発展</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西への領土拡大 	<p>ロシアとアメリカが発展したことを両国の領土の大きさや政治、経済の仕組みの変化に着目して理解している。</p> <p>【知・技】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◇ロシアとアメリカの拡大 ◇南北戦争での北部と南部の対立 ◇涙の道

	<p>☆移民 ☆南北戦争 ☆リンカン</p>	<p>・南北戦争 →工業重視，奴隷制反対の北部が勝利 →世界最大の工業国へ 3 南北戦争によって，アメリカがどのように変化したか抽象化する。 ・アジアからも移民を受け入れ，工業も発展 ・世界最大の資本主義国へ ・人種差別などの問題 4 本時の課題に対するまとめを行う。</p>		<p>・南北戦争が起きた理由を北部と南部の状況を比較することで考えることができるようにする。</p>
<p>ロシアは東西に領土を拡大し，南下政策を進めていた。アメリカでは南北戦争が起き，北部が勝利した。多くの移民を受け入れたこともあり，アメリカは世界最大の資本主義国へと成長した。どちらの国も今後アジアや日本に進出してくるのではないか。</p>				
<p>5</p> <p>産業革命と資本主義</p>	<p>産業革命がもたらした社会への影響を考えることを通して，産業革命は資本主義を広め，社会の発展をもたらした一方で，資本家と労働者の格差や都市環境の悪化などのマイナス面の影響をもたらしたと考えることができる。</p> <p>これまでの学びとつなげ，探究課題に対する自分の考えを主体的にまとめることができる。</p> <p>☆産業革命 ☆資本主義 ☆労働組合 ☆社会主義</p>	<p>1 産業革命について知り，本時の課題を設定する。</p> <p>産業革命によって，社会はどのように変化したのだろう。</p> <p>2 産業の成長や社会の仕組みの変化に着目して個人追究したのち交流する。</p> <p>【産業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イギリス＝世界の工場 ・製鉄，機械，鉄道，造船，武器，蒸気機関で動く機械などがつくられる→技術の向上 <p>【社会の仕組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資本主義の広まり→資本家と労働者の格差 ・社会主義の考えの芽生え <p>【人々の暮らし】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市の労働者の増加→住宅不足 ・公害などの環境問題 ・過酷な労働環境，貧しい生活 <p>3 産業革命の影響をプラスとマイナスの面からとらえる。</p> <p>4 本時の課題に対するまとめと探究課題に対するまとめを行う。</p> <p>欧米諸国では産業革命によって多くの産業が発達し，物が豊かになった。資本主義が広まる一方で，資本家と労働者の格差が大きくなり，労働者は過酷な労働を強いられ，都市部では環境問題も起きた。こうした中で，格差や貧困を解決しようと社会主義の考えが芽生えた。</p> <p>欧米諸国では政治の不満に対して国民が立ち上がった。市民革命や産業革命によって近代的な政治や経済の仕組みが整えられた。だからこそ，欧米諸国は世界に先がけて発展することができた。日本とは国力にもずいぶん差があるが，幕府はこの先どのように政治を進めていくのだろう。</p>	<p>産業革命が与えた影響をプラスとマイナスの二つの側面から考えている。</p> <p>【思・判・表】</p> <p>これまでの学びとつなげ，探究課題に対する自分の考えを主体的にまとめている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p>	<p>◇鉄道の開通</p> <p>◇蒸気機関で動く機械を使う紡績工場</p> <p>◇炭鉱で働かされる子どもたち</p> <p>◇工場で働く子どもの証言</p> <p>◇ロンドンのスラムの様子</p> <p>◇ロンドンのテムズ川の汚染をえがいた風刺画</p> <p>・多面的（プラスとマイナスの影響）・多角的（資本家と労働者）に考えるように促す。</p>